

子を持つ親として
「子育てしてよかった！」と
思える双葉郡に

鈴木 みなみ

一般社団法人とみおかプラス職員、富岡町復興支援員

平成2年(1990)、山形県真室川町生まれ。
米沢女子短期大学、立命館大学卒。大学在籍中から被災地支援に取り組み、
卒業後、いわき市に移住。2019年5月、一般社団法人とみおかプラスに勤務、
2019年9月、富岡町に住み始める。子育て応援コミュニティ
cotohana(コトハナ)の活動にも取り組む。

「ヨソモノの自分には、被災された方の本当の思いは
分からないのでは…」という気持ちを、ずっと心のどこかに持ちながら、
大学在学中から福島で復興支援のお手伝いをしていました。
それが変わったのは、2016年に子どもが生まれてから。双葉郡で子育てする
母親として、地域づくりに関わっていいんだと思えるようになりました。
2017年、子育て応援コミュニティ cotohana^{コトハナ}を立ち上げ、親子サロンや
遊び場づくり、情報誌の発行などに取り組んできました。
富岡は今、子どもがすごく増えています。町に戻ってきた家族だけでなく、
復興従事者のお子さんも増えてきました。今後は未就学児を持つ親同士が
交流できる場所づくりにも力を入れていきたい。
富岡に住みはじめたころは、「こんなところに子どもを連れてきて…」と
心配されることもありました。そういう息苦しさを感じるような空気も、
こども園や小中学校が戻り、子どもの姿が普通に見られるようになり、
少しずつ柔らかく変わってきたような気がします。
でも、双葉郡の子育て世代は、決して楽観的に考えているわけではありません。
これからも安心して子育てできる環境をつくっていきたいです。



双葉郡内で定期開催している親子サロンの様子